

町史だより



天高く、運動会！

一八八二年（明治十五）、現在の翁長にあった間切番所（まぎりばんじよ）（今日の町役場に相当する施設）にて、西原の学校教育が始まりました。当初の児童数は二〇名から四〇名程度でしたが、翌年の一八八三年（明治十六）には一〇〇名を越え、県下第三位の児童数となりました。

多くの子どもたちが勉学に励むなか、一八九九年（明治三十二）

十月十四日、我謝馬場で西原尋常

小学校と中城間切の中城尋常小学校、津覇尋常小学校の三校による

連合運動会が行われました。運動会当日は天候に恵まれ、六千人を越える人々が馬場に集まりました。

人で埋め尽くされた馬場では、木に登って見物する客も多く、危険なほどだったといえます。運動会

の演目は、二人三脚旗取競争や整列矯正術せいれいせいじゆつの他、西原と中城に分かれて綱引きが行われました。当時の新聞には、「鐘太鼓を打ちたたき

双方狂気となりて「中城方の勝に帰しへ中略」紛乱雑沓ふんらんざつたう」と、その盛り上がり伝えていきます。

その後、沖縄戦の影響もあり、運動会が行われない時期がありました。したが、終戦直後の一九四六年（昭和二十一）戦後初の運動会が坂田初等学校で開かれ、明るい話題となりました。

暑かった日差しも落ち着き始めた今日この頃。季節はすっかり秋ですね。スポーツに汗を流しながら、昔の運動会を思い出しはいかがでしょうか。

※紛乱…まぎれみだれること。

※雑沓…多人数で込み合うこと。



坂田初等学校の運動会(1947-51年頃)

〈提供：坂田小学校〉